

令和元年度 阿久比町教育委員会
事務点検・評価報告書
(平成30年度実施事務事業)



令和元年9月
阿久比町教育委員会

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条第1項の規定により、各教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成して議会に提出・公表することが求められています。

この目的は、教育委員会が点検・評価を行い、その結果を公表することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていくというものです。

また、この点検・評価に当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされております。

本報告書は、平成30年度の教育委員会の事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、学識経験者の意見を付してまとめたものです。

令和元年9月

阿久比町教育委員会

(参考) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 (抜粋)

第二十七条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

I	教育委員会の活動状況	
1	教育委員会の構成	4
2	新教育委員会制度への移行	5
3	総合教育会議の開催状況	5
4	教育委員会の開催状況	5
5	教育委員会後援名義使用の状況	5
6	学校訪問の開催状況	6
7	教育委員会委員のその他の主な活動（会議・行事等への参加）	6
II	教育委員会施策の自己点検・評価	
	○学校教育関係	
1	幼保小中一貫教育の推進	8-9
2	学校施設及び設備の整備・改修等の推進	10-12
3	特別支援教育の充実	13-14
4	新学校給食センター建設について	15-16
	○社会教育関係	
5	青少年健全育成の推進	17-19
6	文化・芸術活動育成の支援	20-21
7	魅力ある図書館づくりの推進	22-24
8	スポーツ施設及び設備の整備等の推進	25-27
III	学識経験者の意見 教育委員会事務評価委員会報告書	
	評価結果	28-32

I 教育委員会の活動状況

1 教育委員会の構成

平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日

役職	委員名	任期	備考
教育長	石井 勝巳	H25. 4. 1～H29. 3. 31 H29. 4. 1～R2. 3. 31	
教育長 職務代理者	竹内 正順	H18. 10. 1～H22. 9. 30 H22. 10. 1～H26. 9. 30 H26. 10. 1～H30. 9. 30	
教育委員	加藤 まゆみ	H19. 10. 1～H23. 9. 30 H23. 10. 1～H27. 9. 30 H27. 10. 1～R1. 9. 30	
教育委員	松下 智子	H24. 10. 1～H28. 9. 30 H28. 10. 1～R2. 9. 30	
教育委員	稲葉 清仁	H29. 10. 1～R3. 9. 30	

平成 30 年 10 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

役職	委員名	任期	備考
教育長	石井 勝巳	H25. 4. 1～H29. 3. 31 H29. 4. 1～R2. 3. 31	
教育長 職務代理者	加藤 まゆみ	H19. 10. 1～H23. 9. 30 H23. 10. 1～H27. 9. 30 H27. 10. 1～R1. 9. 30	
教育委員	松下 智子	H24. 10. 1～H28. 9. 30 H28. 10. 1～R2. 9. 30	
教育委員	稲葉 清仁	H29. 10. 1～R3. 9. 30	
教育委員	竹内 賢司	H30. 10. 1～R4. 9. 30	

2 新教育委員会制度への移行

平成 27 年 4 月 1 日施行の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律により、これまでの教育委員長と教育長を一本化した新「教育長」を設置する、新教育委員会制度に移行することが決まった。施行日において在職中の教育長の任期が満了するまでは従来の制度が存続するため、阿久比町では平成 29 年 4 月 1 日をもって新制度に移行した。

新制度移行により、従来の教育委員長及び教育委員長職務代理者は廃止され、新「教育長」及び教育長職務代理者が新たに設置された。なお、教育長の任期は 4 年から 3 年に変更となった。

3 総合教育会議の開催状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、平成 27 年度に町長と教育委員会で構成する「総合教育会議」が設置された。平成 30 年度は平成 31 年 1 月 15 日（木）に阿久比町立中央公民館多目的ホール練習室 1 で開催し、下記の議題について検討した。

議 題 「東部小学校の児童増加に伴う学校選択制の導入について」
「東部小学校校舎の増築について」

4 教育委員会会議の開催状況

下記のとおり定例及び臨時教育委員会会議を開催し、議案 3 4 件の審議を行った。

- ・定例会 1 2 回
- ・臨時会 3 回

5 教育委員会後援名義使用の状況

過去に承認済で、かつ継続して後援名義使用の事業については、事務局による書類審査にて、また新規申請事業については教育委員会会議において申請者に説明を求め、質疑応答、審議し可否を決定した。

申請数 4 9 件
許 可 4 6 件 不許可 2 件 取り下げ 1 件

6 学校訪問の実施状況

教育委員や教育長、教育委員会の職員が学校へ出向き、授業等を視察した。その後学校・園幹部と、授業の改善、家庭における生活習慣の形成、いじめ・不登校への対応、特別な支援を要する園児・児童・生徒への対応、学校の安全体制の整備、部活動などについて、より良い学校・園運営のための意見交換を行った。

開催日	学校名	備考
6月8日(金)	ほくぶ幼稚園	
6月15日(金)	東部小学校	
6月26日(火)	阿久比中学校	
9月12日(水)	南部小学校	
9月28日(金)	草木小学校	
10月19日(金)	英比小学校	

7 教育委員のその他の主な活動（会議・行事等への参加）

- ・各小中学校入学式及び卒業式、幼稚園入園式及び卒園式
- ・教職員辞令伝達式
- ・愛知県市町村教育委員会連合会定期総会
- ・知多地方教育事務協議会
- ・知多地方教育委員研修会
- ・阿久比町教育委員会行政視察
- ・阿久比町教育支援委員会
- ・小中学生海外派遣事業実施委員会
- ・小学生海外派遣事業及び中学校海外家庭生活体験事業報告会
- ・現職教育発表会
- ・いじめ等問題対策連絡協議会
- ・成人式・2分の1成人式
- ・青少年健全育成大会
- ・生涯学習フェスティバル
- ・文協まつり
- ・人権教育後援会
- ・書き初め大会
- ・凧あげ大会 など

Ⅱ 教育委員会施策の自己点検・評価

施策名	1 幼保小中一貫教育の推進
-----	---------------

(担当：学校教育課 学校教育係)

【施策の概要】

- 中学校3年生における「めざす生徒像」を定め、阿久比町の子どもたちに生きる力を身につけさせ義務教育を修了できるよう取り組んでいる。幼保小中の職員(保育士・教員)、そして保護者や地域や行政職員を加えプロジェクトを組織し、「欠落なき教育」「落差なき教育」「段差なき教育」の実現に取り組んでいる。平成30年度は、第5期の2年目として、整理・統合した従来の取り組みと共に、第5期で新設した特別支援教育部を中心に実践に取り組んだ。

【平成30年度の取組状況】

- 4部会の取組

<幼保小接続部>

幼保教員・保育士の小学校研修、小中学校教員の幼稚園研修など幼稚園・保育園と小学校の接続に焦点を当てた取組を継続して行った。平成30年度から全面実施となる幼稚園教育要領の改訂にともない、平成29年度より改訂した「幼保統一カリキュラム」や小学校1年の「スタートカリキュラム」に基づき、実践を行った。

<小中接続部>

小学校と中学校の接続に焦点を当てた取組を継続して行った。「阿久比サマースクール」や「冬休み部活動体験」を実施し、小学6年生の児童が中学校を訪れる機会を昨年度同様に継続して確保した。また、2学期に「中学校の先輩の話聞く会」を実施し、中学3年生代表が母校を訪れ、小学6年生児童に中学校生活について話をしたり質問に答えたりした。



12/11 中学校の先輩の話聞く会(東部小)

<啓発連携部>

啓発連携部では、従来から取り組んでいるノーメディアデーや学びウィーク、親子ふれあいキャンペーン、幼保小中高一貫あいさつ運動に取り組んだ。

また、地域の方を講師として迎えて行う「土曜学習」や学校支援ボランティアなど、地域の教育力の取組を推進した。「土曜学習」では、各小学校区ごとに、地域の特色を生かしながら取り組んだ。

＜特別支援教育部＞

特別な支援を必要とする園児・児童生徒に切れ目のない支援を提供できるよう、平成29年度の第5期より特別支援教育部を設置した。主な活動内容は、特別支援教育指導員を幼稚園・保育園・小中学校に派遣し、園児・児童生徒の見取りと支援について教職員への指導をすることである。また、教職員への研修として発達障害や合理的配慮に関する研修会を実施した。また、それぞれの園・校で実施している合理的配慮の充実を図るとともに、各園・校で行っている合理的配慮の内容を紹介し合う取組を行った。



7/30 特別支援教育研修会

【自己評価・今後の課題】

- ◇第5期の取組として、従来の取組を整理し、新たな取組として始まった「特別支援教育部」の取組を軌道に乗せることができた。学習指導要領が改訂され、様々な変革が行われる中、従来からの取組も大切にしながら、新たな課題に対しても園・校全体で取り組もうとしているところは評価できる。また、園・校の合理的配慮の取組を集約し「なーんだ！ そうだったのか！！これが合理的配慮」を園・校へ広める活動を継続的に進めることができたことも評価できる。しかし、特別支援教育部を中心に、新学習指導要領にも具体的に記載された一人一人を大切にするための合理的配慮について、教職員の意識を高める取組を今後も講じていく必要がある。
- ◇そのような変化の中、14年間取り組んだ幼保小中一貫教育により、園・校の教職員の結びつきや共通理解による取組等の財産は引き継ぎ、今日的な課題に対応する組織はできあがっている。今後も、これらに取り組む教職員一人一人の一貫教育に対する意識を高めると共に、保護者・地域の教育力を高め、園・校の教育へ参画する手立てを講じていく必要がある。

施策名	2 学校施設及び設備の整備・改修等の推進
-----	----------------------

(担当：学校教育課 庶務係)

【施策の概要】

- 町内の4小学校1中学校の校舎及び施設は、築後40年から50年経過しているものが多数あり老朽化による問題が多発している。子どもたちの安全を第一に考え必要な整備や改修工事、修繕等を順次行っている。東部小学校の急激な児童増加について様々な整備も順次行っている。
- 子どもたちが授業を受けるための安全で快適な教育環境を整備するため、必要な設備や備品等の導入を進めている。

【平成30年度の実施状況】

○校舎等改修工事（主なもの）

阿久比中学校保健室空調機取替工事 842,400円

阿久比中学校図書室空調機取替工事 669,600円

※ 既存空調設備の取り替えのため実施

東部小学校南校舎トイレ改修工事 48,708,000円

※ 乾式化及び洋式化工事のため実施

東部小学校運動場改良工事 22,237,200円

※ 運動場の土入れ替えをして水はけをよくするため実施

東部小学校新校舎西面遮熱フィルム設置工事 922,320円

※ 新校舎が西日により高温になるため実施

英比小学校南西校舎トイレ改修工事 48,254,400円

※ 乾式化及び洋式化工事のため実施

英比小学校渡り廊下屋根防水工事 726,840円

※ 老朽化による防水機能の低下により、雨漏りが生じているため実施

草木小学校南校舎廊下階段床改修工事 3,834,000円

※ 老朽化による床タイル劣化のため実施

南部小学校南校舎トイレ改修工事 29,630,880円

※ 乾式化及び洋式化工事のため実施

南部小学校屋外トイレ改修工事 538,920円

※ 男女の間仕切り改修工事のため実施

○トイレ改修工事

東部小学校南校舎トイレ改修工事 48,708,000 円

英比小学校南西校舎トイレ改修工事 48,254,400 円

南部小学校南校舎トイレ改修工事 29,630,880 円

※順次進めているトイレの乾式化及び洋式化を実施（国庫補助事業）



○インターホン更新

阿久比中学校校内インターホン購入

5,497,200 円

※40年ほど前の古い製品であり、老朽化で故障、不調のため修理不能である。

急病などの緊急時に使用できず不便であったため、阿久比中の設備を更新した。

インターホンは全ての小中学校で更新された。



【自己評価・今後の課題】

- ◇老朽化により、校舎等の改修を必要とする箇所が増え、また費用面でも大きなものが増えてきている。その中で平成30年度は東部小学校運動場改良を実施することができた。雨天後の水はけが格段によくなり運動場の利用がすぐできるようになった。財政的に厳しい状況だが、校舎の老朽化により爆裂など外壁破損が見られるので児童の安全のため防水工事を含め早めに工事する必要がある。
- ◇施設や設備の充実を図ることや改修には費用がかかる。しかし財政的に厳しい折、実施できない工事等も多いため必要となる工事の把握及び優先順位付けが重要となってくる。補助金や交付金に該当するものを確認して、必要とされる工事等を実施していく必要がある。
- ◇トイレ改修工事はほぼ毎年国の補助事業に採択され、乾式化・洋式化工事が進んでおり小学校校舎の工事は完了した。まだ改修できていない中学校校舎と各小中学校体育館トイレ改修工事を確実に進めていく必要がある。

- ◇学校における空調設備については、近隣市町に先駆けて普通教室への設置を完了した。しかし特別教室などはまだこれからである。今後も優先順位の高い箇所から順次設置し、普通教室以外もより快適な環境の整備に努めたい。
- ◇インターホンについては平成30年度で小中学校全ての更新が完了した。故障して使えない状況を解消し、職員室以外からも、保健室や他教室への連絡を可能とし使い勝手が向上するとともに、どの端末からも一斉放送ができ、緊急時や防犯対策にも役立てることができるようになった。
- ◇子どもたちの安全で快適な教育環境の確保のため、教育委員会としても学校現場に足を運ぶことで、問題箇所の早期発見に努め、また、他市町の先進事例を常に学び教育環境の充実を図る必要がある。
- ◇大阪北部地震でブロック塀倒壊があり児童が犠牲となりました。学校施設におけるブロック塀等の調査を行い、ブロック塀は無いが、南部小学校擁壁が劣化しているので修繕する必要がある。

各校トイレ改修状況

(○ 改修済 × 未改修)

東部小			英比小			草木小		南部小		阿久比中	
北校舎	南校舎	新校舎	北校舎	南校舎	新校舎	北校舎	南校舎	北校舎	南校舎	北校舎	南校舎
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	△注

注) 阿久比中学校南校舎のトイレの内男女1基ずつのみ洋式便器に改修済み

各校空調設備導入状況

(○ 導入済 △ 一部導入)

	東部小	英比小	草木小	南部小	阿久比中
普通教室	○	○	○	○	○
その他特別教室等	△	△	△	△	△

※その他特別教室等については、図書室、音楽室（英比小除く）、保健室、職員室、パソコンルーム等に設置しているが、理科室・図工室・家庭科室等には設置されていない。

施策名	3 特別支援教育の充実
-----	-------------

(担当：学校教育課 学校教育係)

【施策の概要】

- 特別支援教育指導員が各学校を巡回、専門的立場から保護者からの相談や教員の支援・指導を行った。
- 学校支援員を配置し、特別支援学級在籍児童等の学習及び生活面での支援を行った。
- 障害者差別解消法に基づく「合理的配慮」の提供を行った。

【平成30年度の取組状況】

- 平成30年度より幼稚園・保育園を中心に巡回する特別支援教育指導員を新たに配置した。(子育て支援課所属)
- 特別な支援を必要とする児童生徒が年々増加しているため、支援を行う学校支援員の増員を行った。

年度	26	27	28	29	30
特別支援学級在籍児童生徒数 (各年度4月1日現在・人)	34	40	54	60	74
全児童生徒数に対する割合(%)	1.49	1.71	2.25	2.36	2.78
支援員数(人)	7	8	12	17	19

- 「合理的配慮」の提供のため、特別支援学級へ入級予定の児童と保護者、教員、教育委員会担当者で入学前に施設の確認を行い、必要な備品を購入した。



▲難聴児童のための補聴援助システム送信機



▲車椅子利用児童が負担なく上がるためのスロープ

【自己評価・今後の課題】

- ◇特別支援教育指導員の増員により保育士への支援・指導を手厚く行うことができ、本町の特別支援教育の向上に大いに貢献している。また、より多くの保護者からの相談に対応できるようになった。学校教育課と子育て支援課双方の特別支援教育指導員が連携を図ることで就学に向けた確な意見をいただくことができ、新入学児童にとってより適切な学びの場を提供することができるようになった。
- ◇特別支援学校が望ましいと思われる児童が保護者の強い希望により特別支援学級に在籍している。しかし特別支援学級では児童に対しての支援に限界がある。今後このような児童に対してどのような支援をしていくか課題である。
- ◇学校支援員の配置は、担任の負担を軽減するとともに、一人一人の児童生徒により細やかな支援を行うことができる。年々特別な支援を必要とする児童生徒は増加しているため今後も支援員の増員をしていく必要がある。
- ◇特別な支援を必要とする児童生徒やその保護者の意向にできるだけ沿う、「合理的配慮」を今後も進め、児童生徒により良い教育環境を提供していく。

施策名	4 新学校給食センターの建設
-----	----------------

(担当：学校教育課 給食係)

【施策の概要】

○現在の施設は昭和55年に建設され、経年により施設、内部設備ともに老朽化しており耐震診断結果（耐震性能不足）、生徒・児童・幼児の増加による現給食センターの処理能力の限界、移転作業、調理機器研修等を考慮すると、令和2年7月までに新たな給食センターを建設し、令和2年9月に供用開始を行う必要がある。

【平成30年度の取組状況】

- 「阿久比町立学校給食センター整備基本計画策定及び実施設計業務」
（履行期間：平成29年5月12日から平成30年10月31日まで）
が完了し設計金額が確定した。
それにより令和元年度、令和2年度2カ年に渡る、新学校給食センター建設事業費1,926,132千円を継続費として予算計上した。
- 阿久比町新学校給食センター建設検討委員会を平成30年12月26日に開催し、実施設計の成果を基に委員に説明した。
- 平成31年2月21日に開催した給食センター運営委員会において、「阿久比町立新学校給食センター建設工事」の施工について承認を得た。

【自己評価・今後の課題】

- ◇令和2年9月の供用開始に向けての厳しいスケジュールの中で、計画どおり進行している。
- ◇施設整備にあたっては、衛生管理への配慮、食育機能の充実、食物アレルギー対応等について留意し実施設計を策定した。
- ◇新給食センターを建設する同時期に、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピック関連施設が建設されていることから、建設資材の高騰や人材不足が発生している。また、平成30年度夏の猛暑により、全国的に学校等への空調設備設置工事が急増したことにより、空調関連工事費等が高騰しており、新学校給食センター建設工事においても、事業費の増加や人材不足など、今後の計画に多大な影響が出る事が予想される。
- ◇調理・洗浄・給食配送および回収についての民間委託、新学校給食センターに係る年間保守委託、厨房備品（機器等）及び建築備品（オフィス用品机、家具等）購入など令和元年度に積算し、令和2年度に予算計上する必要がある。加えて、現給食センター業務も安全安心な運営をすることが求められており、対応する職員の数が不足している現状がある。



新学校給食センターイメージ図

施策名	5 青少年健全育成の推進
-----	--------------

(担当：社会教育課 社会教育係)

【施策の概要】

- 青少年健全育成事業の推進を図るため、青少年健全育成地区推進員を町内23地区に置き、推進員相互の連絡と情報交換、町との連携を図るため、青少年健全育成地区推進員連絡協議会を開催している。
- 地区推進員は、協議会において、現状把握と育成活動についての理解を深め、総務、広報、環境部の各部での活動や協議会全体での活動、それぞれの地区での活動を通して、家庭・学校・地域社会が一体となって取り組む青少年健全育成活動の充実を図る役割を担っている。
- 青少年対策の充実を図るため、町議会議員や学識経験者等に青少年問題協議会委員を委嘱し、委員相互の連絡と情報交換、町との連携を図るため、青少年問題協議会を開催している。

【平成30年度の取組状況】

- 青少年健全育成地区推進員連絡協議会（全推進員） 年3回開催
 - ・第1回協議会（4月18日開催）では、年間事業計画と年度内に予定している各部の活動についての確認をし、内容や実施方法の検討、協議をした。
 - ・第2回協議会（6月20日開催）では、8月3日に開催する青少年健全育成推進大会や今後の活動の確認、愛知県青少年健全育成推進事業の情報提供、各地区での活動を報告し、情報交換をした。
 - ・第3回協議会（3月13日開催）では、協議会全体の活動及び各部での活動の報告と意見交換をした。また、インターネットを利用するときのルールづくりに関するチラシを配付し、啓発した。
- 青少年健全育成推進大会（全推進員）
 - ・「青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動」夏期強調月間にあたる8月3日（金）アグピアホールにおいて、「家庭や地域で今、思うこと」をテーマに小学生、中学生、高校生各2名合計6名の意見発表を行い、家庭・学校・地域社会が一体となって取り組む青少年健全育成活動の充実を図った。
 - ・夏休みボランティア体験で、あぐいタイボキッズクラブの子どもたち7名が受付係、案内係、題目めぐり係に分かれて参加し、大会運営スタッフの一員として活躍した。
 - ・後半のアトラクションでは、チアダンスグループ「チアキッズGOGO」による元気いっぱいのダンスの披露があり、会場が華やかな雰囲気に包まれ、大会を盛り上げてくれた。



意見発表者



タイボキッズクラブ



チアキッズGOGO

○地域環境調査（全推進員）

7月2日から8月3日を調査期間として、各地区で現状把握と環境改善を目的に、推進員が青少年に悪影響を与える落書きなどの調査をした。

○一斉啓発活動（総務部）

・「青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動」（7～8月）における県下一斉街頭啓発活動の一環として、7月28日（土）に野外音楽会の会場での啓発活動を計画したが、台風接近に伴い、中止した。

・「子ども・若者育成支援県民運動」（11月）における県下一斉街頭啓発活動の一環として、11月3日（土）にアピタ阿久比店出入口付近でチラシや啓発品を配布し、青少年の非行防止及び健全育成を呼びかけた。

○夏の非行防止広報活動（広報部）

・関係団体と協力して、7月3日、24日、8月7日、23日の4回は、コンビニ、マンガ喫茶、ショッピングセンターなど、町内で青少年が集まりそうな場所を巡回し、パトロールと店員に声をかけて情報収集をした。また、「安全安心パトロール車」から青少年の非行防止及び健全育成の呼びかけをした。

・8月17日は、関係団体と協力して、「あぐいふれあい盆踊りの夕べ」会場内のパトロールをした。

○環境美化活動（環境部）

阿久比高校の出校日に合わせ、8月20日（月）に阿久比高校生徒と一緒に、名鉄阿久比駅構内の清掃及び駅周辺の除草作業をした。

○青少年問題協議会

夏休み前の7月17日に協議会を開催し、青少年健全育成地区推進員連絡協議会の活動報告等及び各委員が所属する団体の活動報告を行い、情報交換をした。また、半田警察生活安全課から講師を招いて、「青少年による薬物乱用の現状」と題し、青少年犯罪の現状についての講話を行った。情報提供として、県が実施する講師派遣型講座「保護者のためのネットモラル塾」のチラシを配付し、講座の利用についての啓発をした。

【自己評価・今後の課題】

- ◇平成28年度までは「社会を明るくする運動」と合同で開催していた青少年健全育成推進大会を、「青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動」夏期強調月間に合わせ、「阿久比町青少年健全育成推進大会」として単独で開催するようになって2年目を迎えた。家庭・学校・地域社会が一体となって取り組む青少年健全育成活動の充実を図るという大会の目的を、明確に示すことができるようになった。また、意見発表者の児童、生徒、タイボキッズクラブやチアキッズGOGOの子どもたちの活躍は、会場に華を添えてくれるだけでなく、参加者に青少年の健全な育成を実感していただく機会になっている。大会のPRは、広報等への掲載、関係団体への案内、小中高等学校や町内各施設へのチラシ配布、ポスター掲示の依頼などを行ったが、開催が夏休み期間中だったこと、平日だったことが影響したのか、前年度と比較して参加者が減少する結果となったことから、開催日の決定には考慮が必要である。
- ◇青少年健全育成推進事業は、啓発やパトロールなどの活動が多く、子どもたちを見守る活動が中心となっており、家庭・学校・地域社会が一体となって取り組むためには、関係団体との連携は必要不可欠である。その中でも、環境美化活動は、阿久比高校生徒と一緒に行動することから、このつながりを継続し、青少年の健全な育成を図る。
- ◇青少年を取り巻く環境の変化は急速で、インターネット環境は充実し、スマートフォンが普及し、便利で生活に欠かせないものとなっている。一方で、その手軽さから、インターネットやSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を介して、青少年が被害者になったり、犯罪やトラブルに巻き込まれたり、青少年に大きな影響を与える様々な問題が発生している。引き続き、問題解決につながるように、チラシの配布などの啓発に努める。

施策名	6 文化・芸術活動育成の支援
-----	----------------

(担当：社会教育課 公民館係)

【施策の概要】

○地域に根ざした文化の継承と特色のある文化の創造に向け、住民主体の芸術・文化活動を促進していく。施設の整備や活動発表の場を充実させるとともに、文化活動団体等との連携を推進する。

【平成30年度の取組状況】

- 県文連芸能大会、美術展、県民茶会など県文化協会主催事業へ積極的に参加し、他市町の文化・芸術活動団体との交流を図った。
- 公民館教室や講座を修了した受講生を対象に、自主活動グループとしての新たな団体設立への働きかけを実施し、現在文化協会に加入している団体数は、47団体で前年度より3団体増えた。なお、サークル協議会団体数は前年度と変わらず41団体である。
- 生涯学習として参加者の自己研鑽の場を提供し、心の豊かさや生きがいとしての基盤を整備するとともに、講座の啓発に努めた。
- 公民館事業では、生活と文化芸術を結んでいる活動団体と連携して高齢者・青少年・親子・一般など22講座を延べ90回実施した。延受講者数は、1,092人で前年度より33人増加した。前年度と比較し増加した主な理由としては、アグピアホールで新たに開催したソフトピラティスの講座の延受講者数が100人いたことによるものである。
- 学習したい方や自分の得意なことを活かして教えたい方が、自ら企画するマイスタディ講座・マイプロデュース講座として7講座を延べ50回実施した。延受講者数は、411人で前年度より43人増加した。増加要因は前年度が7講座で延べ41回の実施だったことによるものである。

	名 称		名 称
1	楽しいフラダンス講座	5	はじめてでも大丈夫着付け初心者講座
2	シニアのための学び直しの英語	6	ポーセラーツ(食器の絵付け)
3	レッツ ハワイアンキルト	7	安全・安心・基礎から学べる旬のおいしい野菜作り講座
4	子どものことばの獲得とその問題点・改善方法		



夏休み子ども教室（川の生き物観察）



ソフトピラティス

○アグピアホールを文化活動の発信の場として、多くの方に利用してもらうため、公民館利用団体へのPRに努めた。平成29年度のアグピアホールの利用件数は181件であったが、平成30年度の利用件数は286件で105件の増加であった。

また、免除・減免・有料別を比較すると、免除団体の利用が、243件（85%）であり免除団体の利用が大半を占めた。減免団体の利用は、17件（6%）、有料団体の利用は26件（9%）であった。

○「あぐいふれあい盆踊りの夕べ」の運営を前年度までの文化協会主催では文化協会会員の負担が大きいことから実行委員会方式で企画・運営するようにした。

【自己評価・今後の課題】

◇公民館講座は、平成29年度と同じく延べ90回の実施であったが延受講者数は増加した。今後もたくさんの方が参加できる講座を企画し実施していく。

◇アグピアホールのPRを推進することで利用件数は増加したが、有料利用者の増加を図るため、引き続き各分野へのホール利用をPRする。令和元年度はオーケストラによるコンサートを計画している。

◇「あぐいふれあい盆踊りの夕べ」は平成30年度から実行委員会方式としたが、スタッフの大半は永年のノウハウを持った文化協会会員に頼らざるをえない状況にある。新たに実行委員会に加わった団体にも率先して運営に参加してもらうよう働きかける。

施策名	7 魅力ある図書館づくりの推進
-----	-----------------

(担当：社会教育課 図書館係)

【施策の概要】

- 魅力ある図書館づくりを推進するために自発的な学習意欲に応えられるような蔵書や資料などの充実を図り、誰でも気軽に利用できる施設を目指す。
- 魅力ある図書館づくりのために、講座の開催、展示ホールを生涯学習グループの成果発表の場とするほか各種事業を開催する。

【平成30年度の取組状況】

子ども読書の日による活動から始まり、各種講座（文学講座、童話作法講座、読書指導講座、風土記講座、夏休みに行う子供向け講座等）、年間を通して土・日曜日に行う児童向けの読み聞かせ等を行い、主なものは、以下のとおり。

○保育園・学校との連携

- ・子ども読書の日（4月22日）を中心に各保育園児・幼稚園児を図書館へ招き読み聞かせボランティアの協力のもと図書館で読み聞かせを行うことにより絵本とふれあう機会作りを行うことができた。
- ・小中学校の学校図書館図書整理員と町立図書館の職員との意見交流会を阿久比中学校で開催（2月）し会議を通して各学校の図書館の特色を情報として得ることができ町立図書館を中心として連携の必要性が理解できた。
- ・小中学生の読書活動の機会づくりのために「アグピー文庫」を設置しているが、小中学生に留まらず、一般の利用者にも利用が拡大している。

○図書の有効利用

- ・図書リサイクル^{注1}フェア（11月8日から11月18日）を行い保育園、児童館、小学校、中学校等の公共施設に優先的に無償で譲渡した。また、一般の希望者へも無償で譲渡を行った。

○作品の展示

- ・展示ホールを小中学校・高等学校はじめ各方面で活動しているサークルの方々に展示してもらうことにより、多くの図書館来館者から「毎年楽しみにしています。」「おじいさん、おばあさんの作品展はもう20回になるのですね。」など称賛の言葉をいただくことができた。

○青空図書館（阿久比プレイガーデンプロジェクト事業）

- ・ふれあいの森に図書1,000冊を運び、ブックトラック5台に分けて並べ自由に閲覧してもらった。当日は、貸出も行い図書館活動のPRを行った。春（5月26日・27日）・秋（9月23日）の2回実施した。

○読書カード配布事業

・読んだ本について感想が記入できる読書カード（読書カード1つで30冊まで記入可能）を作成し配布した。（10月20日～11月30日）

【自己評価・今後の課題】

◇子どもの自主的な読書活動にとどまらず一般の方々をも巻き込み、町民の生涯学習活動にも貢献できた。

◇図書館資料^{注2}については、新刊図書の購入と除籍とをバランスよく行うことができ、新しい情報を提供することができた。今後も利用者の要望に耳を傾け新しい情報提供に心掛けることが大切である。

◇展示ホールは、学校関係をはじめ生涯学習サークル等の活動の成果発表の場として大いに利用され、町の文化活動発展に役立っていると思われるので今後も続けていきたい。

◇魅力ある図書館のために講座開催がある。開催にあたっては幅広い年代層が来館し、受講できる講座の実施に努める。

◇図書館利用者^{注3}については、近年入館者が減少しているので広報・図書館だより等を通してPRを行い利用者の増加に努める。

(注1) 図書リサイクルの内訳

平成30年度(単位:冊)

資料提供数	学 校	保育園等	個 人	計	リサイクル率	残 数
3,587	330	367	2,463	3,160	88.1%	427

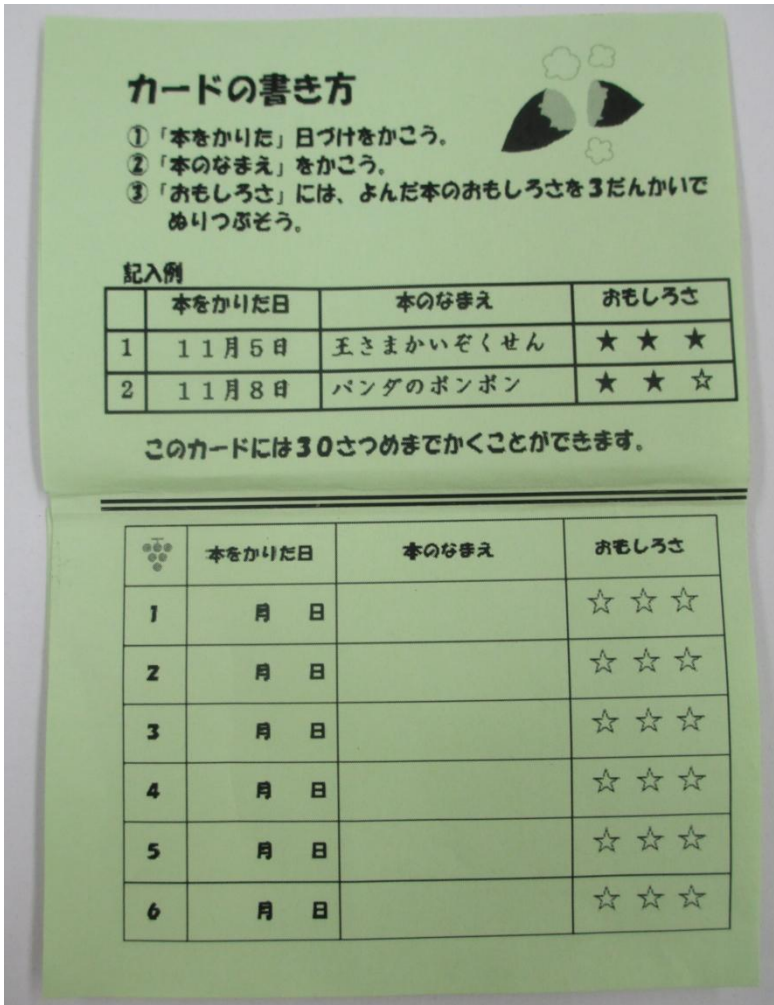
(注2) 図書館資料 蔵書増減数

平成30年度(単位:冊)

	H29 蔵書数	購入	寄贈等	除籍	計
図書資料	106,374	3,906	112	2,718	107,674
視聴覚資料	7,987	218	6	771	7,440

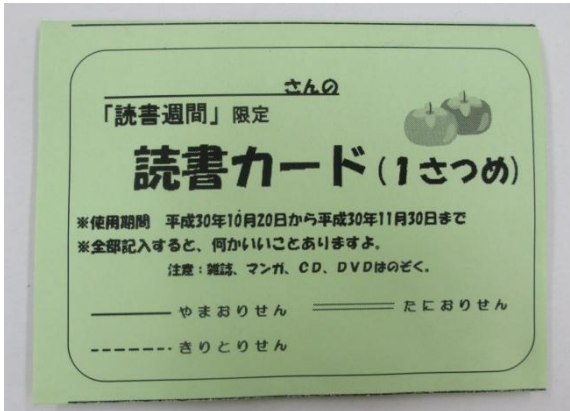
(注3) 図書館利用者

種 別	年 度	数 値
入館者数	H29	91,849 人
	H30	89,030 人
貸出冊数	H29	192,006 冊
	H30	194,740 冊
貸出人数	H29	40,122 人
	H30	40,666 人

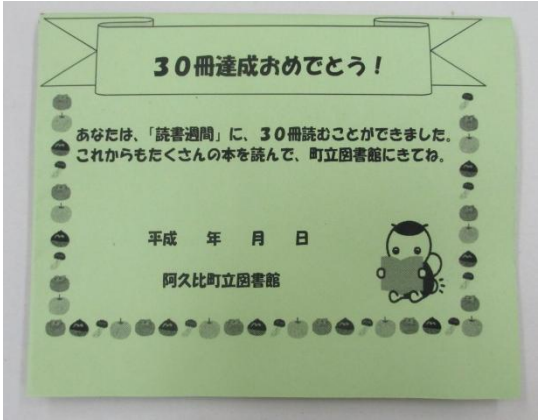


読書カード配布事業

受付カウンターにて子どもから大人まで全ての希望する方に配布しました。



表



裏

施策名	8 スポーツ施設及び設備の整備等の推進
-----	---------------------

(担当：社会教育課 体育係)

【施策の概要】

- 阿久比スポーツ村、町内各グラウンド、丸山武道場、白沢区民館、ふれあいの森などのスポーツ施設の整備に努め、全ての町民が安全にスポーツに親しめる環境整備を推進し、利用促進を積極的に図る。

【平成30年度の取組状況】

- 阿久比スポーツ村野球場においては、高校野球地区予選会場、社会人野球チームの練習場、町民体育祭における軟式野球大会、少年野球大会として利用があるため、グラウンド整備工事を行った。また、三塁側のネット支柱が錆びていたため、塗装工事を行った。
施設の維持管理としては、高圧電気設備改修工事、浄化槽ブロワ改修工事を行った。また、第3駐車場は、区画線が消えている箇所が多かったため、新たにラインを引いた。
- ふれあいの森においては、利用者の安全確保のため、ローラー滑り台アルミローラー取替工事を行った。また、パターゴルフ場の整備のため、3番ホールグリーンの改修工事を行った。
- グラウンドについては、白沢グラウンドのテニスコートの物置が劣化していたため、既存の物置を撤去し、新たに購入した。またサッカーの利用者が多い板山グラウンドに、ミニサッカーゴールを購入した。また、犯罪の抑止、施設の安全性の確保のため、草木グラウンド、白沢グラウンド、板山グラウンドにそれぞれ1台ずつ防犯カメラを設置する工事を行った。

スポーツ村利用状況

施設名	項目	平成29年度	平成30年度
陸上競技場（団体）	件数	317	325
	人数	17,745	19,150
陸上競技場（個人）	人数	2,172	2,639
野球場	件数	195	244
	人数	13,517	16,171
室内練習場	件数	172	190
	人数	5,904	8,116
トレーニング室	人数	11,563	11,764

ふれあいの森利用状況

施設名	項目	平成29年度	平成30年度
パターゴルフ	人数	2, 175	1, 681
デイキャンプ	件数	73	123
	人数	1, 229	2, 039
体育室	件数	894	1, 166
	人数	13, 331	16, 480
入園者数	人数	51, 384	54, 883

グラウンド利用状況

施設名	項目	平成29年度	平成30年度	
白沢	グラウンド	件数	329	286
		人数	16, 348	16, 675
	テニスコート	件数	1, 622	1, 526
		人数	12, 273	12, 272
	多目的広場	件数	0	0
		人数	0	0
板山グラウンド	件数	223	209	
	人数	14, 398	13, 875	
草木グラウンド	件数	316	320	
	人数	12, 000	14, 990	

【自己評価・今後の課題】

◇施設の老朽化が進んでいるため、安全な環境でスポーツを行うことができるよう、修繕、工事等ができた。しかし、どの施設においても、突発的な修繕が必要になる場合があるので、常に施設の状況を把握し、計画的に修繕、工事等を行い、施設の長寿命化を図るよう努める必要がある。また予算に限りがある中で、優先順位に基づいた修繕ができているか、今一度精査が必要である。

阿久比スポーツ村野球場の外野の芝については、雑草が多くなってきており、また、利用頻度が多いため、芝が荒れている箇所が多いので、より一層の保守、メンテナンスに努め、質の高い利用環境を目指す必要がある。



防犯カメラ設置工事（草木グラウンド・白沢グラウンド・板山グラウンド）



野球場三塁側ネット支柱塗装工事（全17本）

Ⅲ 学識経験者の意見

教育委員会事務評価委員会報告書

令和元年度 教育委員会事務評価委員会報告書

阿久比町教育委員会

教育長 石 井 勝 巳 殿

阿久比町教育委員会事務評価委員会は、平成 30 年度の阿久比町教育委員会事務について、令和元年 7 月 4 日、7 月 24 日、8 月 7 日と 3 回の委員会を開催し、点検・評価を行った。以下に、評価結果を報告する。

令和元年 8 月 7 日

阿久比町教育委員会事務評価委員会

委員長 新 海 洋 生（主任児童委員・元小学校長）

田 中 悦 夫（元小学校長）

吉 住 まり子（元あぐい女性の会会長）

評価結果

施策名	1 幼保小中一貫教育の推進
<p>○幼保小中一貫教育は、阿久比町の誇るべき教育の一つである。従来の取組を統合整理し充実させるとともに、今日的課題である特別支援教育にも積極的に対応していることは評価できる。特に、教職員一人ひとりに研修会等を通して合理的配慮について理解させ意識を高めたことは大いに評価できる。</p> <p>○一方で、形骸化・マンネリ化している取組はないか。今、本当に必要な取組は残し、そうではない取組は思い切って削減することも考えて欲しい。</p> <p>○各小学校区で地域の方が講師となって行われている土曜学習は大いに評価できる。さらに一歩進め、地域の方がただ参加するのではなく主体的に参画し活動していくとなおよいではないだろうか。</p> <p>○小中接続の取組としての「中学校の先輩の話を聞く会」は大いに評価できる。この会が新しい環境に対する不安を、憧れや期待に変え自立していく児童の後押しとなるものであると確信している。</p>	
施策名	2 学校施設及び設備の整備・改修等の推進
<p>○喫緊の課題であった、空調機器の整備とトイレの改修工事を計画的に進めたことは、児童生徒の生活環境の安全と快適さを重視した取組であり、大いに評価できる。なお、トイレについては改修できていない中学校校舎と各小中学校体育館も計画的に進めていただきたい。</p> <p>○インターホンの整備についても評価できる。緊急一斉放送や不慮の事件事故の対する緊急連絡に欠かせないものである。今後は、職員に対して使用方法の周知徹底を図っていただきたい。</p> <p>○各学校とも、校舎の老朽化により改修する箇所が増えてきている。費用がかさむこととなるが、児童生徒の安全を第一と考え、計画的に改修工事を進めていただきたい。</p>	
施策名	3 特別支援教育の充実
<p>○特別支援学級在籍児童生徒数が年々増加していることを踏まえ、学校支援員を増員しており評価できる。加えて、平成30年度より幼稚園・保育園を中心に巡回する特別支援教育指導員を新たに配置したことも評価できる。なお、学校支援員については、初心者も含まれる。町を挙げての組織的な研修や支援員の悩みや相談にも対応できるしくみを作っていただきたい。</p> <p>○障害者差別解消法により「合理的配慮」の提供が定められている。教職員に対して正しく理解するための研修会を実施することはもちろん、保護者に対しても十分理解していただけるように特別支援教育指導員などを活用していただきたい。</p>	

<p>施策名</p>	<p>4 新学校給食センター建設について</p>
<p>○厳しい環境・条件下で計画通り進められており、関係者の方々のご苦労に頭が下がる。</p> <p>○建設で終わりではない。安全安心な給食・児童生徒保護者から喜ばれるおいしい給食・スムーズな供用開始・費用対効果を考えた運営となるように十分検討し準備を進めていきたい。</p> <p>○建設を急ぐあまりに、特に今日的課題である「食物アレルギー」や異物混入や食中毒対策などの安全安心への設備や対策がおろそかにならないようお願いしたい。</p>	
<p>施策名</p>	<p>5 青少年健全育成の推進</p>
<p>○「青少年健全育成推進大会」が単独開催となり、主対象者の集客に効果を上げたが、集客が限定されてきたなどの課題も出てきた。今後は、もう一工夫を期待したい。</p> <p>○青少年健全育成事業は、啓発やパトロールなど地道な活動が多いが、子どもたちを見守る大切な活動である。今後も家庭・学校・地域が一体となって取り組んでいきたい。</p> <p>○青少年を取り巻く環境は激変しており、SNS、インターネットなどでトラブルを抱えてしまったときの解決方法（実例を踏まえた）や気軽に相談できる窓口の紹介などの啓発活動にも力を注いでいきたい。</p>	
<p>施策名</p>	<p>6 文化・芸術活動育成の支援</p>
<p>○文化協会への加入団体が増え、評価したい。さらに、未加入のサークルも楽しさや意義について理解し、ともに学んでいける団体となるように期待している。</p> <p>○公民館講座は、幅広い内容の講座を開設するなど受講者の増員を図る工夫が見られる。また、マイプロデュース講座も身近で実用的な内容で魅力を感じられるものが多い。マイスタディ講座に関しては、助成金や講座の内容により、公民館講座として実施していくなどの発展を期待している。</p> <p>○アグピアホールについては、有料利用者を増やすことも大切であるが、「宝の持ち腐れ」と言われぬように免除・減免団体を含め、利用件数の増加に努めていきたい。今後もアグピアホールを文化活動の発信の場として位置づけ積極的に利用することを期待している。</p>	

施策名	7 魅力ある図書館づくりの推進
<p>○入館者数が前年度と比較して2,800人ほど減少したが、89,000人を超えており評価したい。</p> <p>○図書の貸し出し人数が前年比で逆に540人ほど増加していることを考慮すれば、本来の業務を全うしていると評価できる。</p> <p>○新規の試みで「読書カード配布事業」があったが、期間限定でなく継続的に実施したらどうだろうか。</p> <p>○入館者数が貸し出し人数の2倍以上を数えるということは、展示ホールの活用や魅力ある講座開催の成果である。今後も町民の方が多く足を運んでくれるよう努めていただきたい。</p> <p>○小中学校の学校図書整理員と町立図書館の職員との意見交流会が、毎年行われていることは評価できる。しかし、昨年度も指摘したことであるが実施時期が2月下旬と遅く、その年度内に情報交流の成果を生かすことが難しい。異動職員もあり、遅くとも10月頃までに意見交流会を開くべきではないか。</p>	
施策名	8 スポーツ施設及び設備の整備等の推進
<p>○【施設の概要】の中で「…全ての町民が安全にスポーツに親しめる環境整備を^①推進し、利用促進を積極的に図る。」と記載している。しかし【取組状況】の中^②では①の部分ばかりで、残念ながら②の部分、すなわち利用促進を図る具体的な記載が少ない。</p> <p>○ふれあいの森デイキャンプ施設の利用状況が前年比で件数・人数とも1.7倍近くに増加しており大いに評価したい。夏場に集中する可能性が高いが、全天候型であるで、1年を通してより多くの方に利用していただけるようにPRしていただきたい。</p> <p>○平成29年度に比べ平成30年度のほうが、ほぼ利用者数が増えており評価できる。ただ、パターゴルフ場は、改修工事をしたのにも関わらず利用者数が減少した。おそらく改修工事中利用できなかったからだと考えられる。今後の利用者数の増加を期待している。</p> <p>○施設の老朽化が進んでおり、点検・補修・改修工事は欠かせない。施設の瑕疵による事故等が発生すれば大きな問題となる。安全に親しめる設備となるために環境整備を一層推進していただきたい。</p>	